

学科名	情報学科						
科目名	システムプログラム						
科目区分	専門科目	単位数	2単位	開講時期	3年次後期		
必修・選択の別	選択科目(ネットワークコース) 選択科目(ソフトウェアコース)						
担当者	永井 秀利						
授業の到達目標 (シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・C言語の基本を習得し、簡単なプログラムを書くことができる。</li> <li>・ライブラリ関数とシステムコールの違いを理解している。</li> <li>・プログラム言語を使ったOS固有の機能の使用法を理解している。</li> <li>・システムコールを使った簡単なプログラムを書くことができる。</li> </ul>						
日程と内容	<p>第1回：導入講義：授業の進め方と概要の説明、成績評価法  第2回：C言語入門（文法と制御構造の基本）  第3回：C言語入門（配列、文字列）  第4回：第2回～第3回の内容に関する演習  第5回：第4回の演習の解説、C言語入門（関数の利用と作成）  第6回：C言語入門（ポインタ）  第7回：第5回～第6回の内容に関する演習  第8回：第7回の演習の解説、  C言語入門（プリプロセッサ命令、構造体、ビット単位の論理演算）、  システムコールとは  第9回：ファイルアクセスに関するシステムコールの利用  第10回：第8回～第9回の内容に関する演習  第11回：第10回の演習の解説、プロセスの生成と操作  第12回：パイプによるプロセス間通信  第13回：第11回～第12回の内容に関する演習  第14回：第13回の演習の解説、定期試験に向けた総合模擬テスト  第15回：ソケットによるプロセス間通信の入門  定期試験</p>						
成績評価基準	定期試験	60%	実技	0%			
	臨時試験	0%	部外評価	0%			
	報告書・レポート	0%	プレゼンテーション	0%			
	課題	0%					
	演習	40%	計	100%			
授業到達目標の達成度	合格者については到達目標を概ね達成した。						
反省点	学科カリキュラムの都合により、C言語を初めて学ぶにもかかわらず入門レベルを超える内容まで学ばねばならないことから、かなり難度の高い講義となっている。それゆえ演習が重要となるが、演習途中でサポートがまだ弱いようにも感じる。人手の問題もあり限界はあるが、演習中のアドバイスを強化したい。						
来年度の計画	基本的には同内容とする。 事前にC言語を学んでいる学生のみを対象とするのでない限りは変更は難しい。						
授業評価アンケートに対するコメント	アンケート回答数が少ないので有効なアンケートとは言えないようにも思いますが、比較的高い評価をしてもらえたことは嬉しく思います。演習の設備、環境については、別の講義の演習環境を援用させていただいている都合上、快適というには程遠いことは確かです。少しでも改善できないかを考えてみます。						
履修登録者数	13名	定期試験 受験者数	6名	合格者数	5名	合格率	83%